

枚方走谷水素ステーションの開所について

記者各位

当社(社長:杉森 務)は、本日、「枚方走谷水素ステーション(大阪府枚方市)」に、当社として関西初となる水素ステーションを開所しましたので、お知らせいたします。

また、同日に行いました開所式典では、市原近畿経済産業局資源エネルギー環境部長、下村大阪府新エネルギー産業課長、伏見枚方市長よりご祝辞をいただき、テープカットおよび充填セレモニーを行いました。

当社は、次世代自動車振興センター「燃料電池自動車用水素供給設備設置補助事業」の採択を受けて、四大都市圏に約40カ所の商用水素ステーションの開所に向けた準備を進めております。これまでに東京、神奈川、埼玉、千葉、愛知、福岡に18カ所の水素ステーションを順次開所し、水素販売を開始しており、本ステーションの開所で、合計19カ所になります。

当社は、今後とも水素製造ならびに自動車用燃料供給に関わるインフラやノウハウを活かし、水素の「製造」・「輸送」・「販売」の効率的なビジネスモデルの構築を通じて、水素社会の実現に向けて貢献してまいります。

【枚方走谷水素ステーション概要】

開所日	2016年2月24日(水)
所在地	大阪府枚方市走谷1-27-45
運営者	株式会社ENEOS水素サプライ&サービス
敷地面積	1,719㎡
供給方式	オンサイト方式(ステーションで水素を製造する方式)
水素供給設備	水素製造装置、圧縮機、蓄圧器(カーボンファイバー複合容器)、冷凍機、充填機など
供給能力(※1)	300Nm ³ /h
充填圧力(※2)	70MPa(メガパスカル)
充填時間(※3)	約3分間

※1 燃料電池自動車1台に充填できる水素量が最大50Nm³の場合、1時間当たり5~6台に充填可能な能力。

※2 現在販売されている燃料電池自動車に搭載のタンク使用圧力に対応したもの。

※3 国際標準規格に基づく70MPa(満タン)までの充填時間。

<テープカットの様子>



(左から)

株式会社ENEOS水素サプライ&サービス 代表取締役社長 吉宗 雅史 様
 枚方市 市長 伏見 隆 様
 JXエネルギー株式会社 取締役常務執行役員 西島 弘也
 経済産業省 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部長 市原 秋男 様
 大阪府 商工労働部成長産業振興室 新エネルギー産業課長 下村 善嗣 様

<外観>



<水素充填機>



以上